

- 6月15日[金] 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」式典音楽制作者発表
- 6月24日[日] 伊佐米PRイベント「田んぼ de REBNISE」
- 6月29日[金] 鹿児島港「国際旅客船拠点形成港湾」に指定
- 7月1日[日] JACアイランドホッピングルート開設
- 7月3日[火] 奄美の世界自然遺産の早期推薦を要望
- 7月5日[木] ナンタクオーストラリア向け牛肉輸出出発式
- 7月8日[日] 大迫勇也選手への知事表彰 「スポーツ部門」特別賞授与
- 7月8日[日] 奄美パークリニユール
- 7月9日[月] 奄美空港ターミナルビルリニユール
- 7月10日[火] 大島有志生さん(千足屋常務) 「薩摩大使」委嘱
- 7月13日[金] 西田あいさん「薩摩大使」委嘱
- 7月18日[水] 英国自治体と友好協定を締結
- 7月19日[木] 霧島国際音楽祭
- 7月22日[日] ブラジル鹿児島県人会 創立105周年記念式典
- 7月27日[金] 鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流
- 7月28日[土] 英国への薩摩スチューデント派遣
- 8月4日[土] 岐阜県大垣市へ「薩摩ベンチ」贈呈
- 8月10日[金] Uターンフェア「かごしま & 県内就職 合同面接会

6/15 [金]

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」式典音楽制作者発表



▲(左から)石田准教授、伊地知非常勤講師、三反園知事、久保教授

2020年に本県で開催される「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開会式・閉会式で使用する式典音楽の制作者を発表しました。

制作者は、本県出身の作曲家である吉俣良さんをはじめ、鹿児島大学の石田匡志准教授、松陽高校の伊地知元子非常勤講師、鹿児島国際大学の久保禎教授の4名の方々です。

発表後の三反園知事との懇談では、それぞれ制作に向けた意気込みなどを語りました。

豊かな自然や歴史・文化を持ち、吹奏楽さきがけの地でもある本県の魅力がたくさん詰まった楽曲の制作が期待されます。



▲作曲家の吉俣良さん

6/24 [日]

伊佐米PRイベント「田んぼ de REBNISE」



▲苗を田んぼに植える参加者

伊佐市で「田んぼ de REBNISE」が開催されました。

このイベントは、「伊佐米」のPRと青少年育成を目的に開催されたもので、プロバスケットボールチーム鹿児島REBNISEの選手が、地元の小中学生や三反園知事と一緒に田植えを行いました。

県内屈指のコメどころである伊佐市では、一部の農家が硫黄山の噴火の影響で今年の作付を断念するという苦渋の決断をされましたが、「伊佐米」ブランドを守るため、関係者が一体となった取り組みを進めています。

秋にはおいしい「伊佐米」が収穫されますので、ぜひご賞味ください。



▲「伊佐米」で作ったおにぎりの振る舞いも

7/3
[火]

奄美の世界自然遺産の早期推薦を要望



▲菅官房長官への要望

三反園知事は、柴立県議会議長等とともに、菅官房長官と中川環境大臣を訪問し、「奄美大島徳之島沖縄島北部及び西表島」について、2020年夏の世界自然遺産登録実現を目指して、来年2月1日までに再推薦するよう要望しました。

来年2月の世界遺産の推薦にあたっては、国において自然遺産または文化遺産のいずれかが1件に絞り込まれることから、官房長官や大臣に対し、奄美の世界自然遺産の早期登録に向けた地元熱意や期待を直接伝えました。

県では、奄美の確実かつできるだけ早期の世界自然遺産登録を目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。



▲中川環境大臣への要望

7/8
[日]

大迫勇也選手への知事表彰「スポーツ部門」特別賞授与



▲三反園知事から表彰状を受け取った大迫選手

サッカーワールドカップロシア大会で、日本代表の中心選手として活躍した本県出身の大迫勇也選手に、知事表彰「スポーツ部門」特別賞を授与しました。

大迫選手は、予選リーグのコロナビア戦で決勝ゴールを決めるなど、「半端ない」活躍でチームをベスト16に導き、県民に夢と感動を与えるとともに、本県のスポーツ振興に多大な貢献をされました。

三反園知事から表彰状とクリスタルカップを贈られた大迫選手は、「これからも鹿児島の子どもたちに夢を与えられるプレーがしたい。」と笑顔で話しました。



▲懇談ではコロナビア戦での決勝ゴールの話題に

7/10[火]
7/13[金]

大島有志生さん、西田あいさんに「薩摩大使」を委嘱



◀西田さんは大島紬のドレス姿で出席

うしお
どんどん
鹿児島



三反園知事から委嘱状を受け取った大島さん

県では、多彩な魅力を国内外に広くPRしていただくため、情報発信力の高い方に「薩摩大使」を委嘱しており、このたび、老舗高級果物店「千足屋総本店」常務取締役の大島有志生さんと歌手の西田あいさんに委嘱しました。

大島常務は、本県を定期的に訪問し、県産果物の産地視察や情報収集を意欲的に行っており、「これまで以上に鹿児島をPRしていけるように一緒に頑張りたい」と今後の意気込みを語りました。

西田さんは始良市出身で、委嘱式には、祖母から受け継いだ大島紬をアレンジして作ったドレス姿で臨み、「ふるさとへの感謝と恩返しのお気持ちも込めて、鹿児島PRを頑張ります」と今後の抱負を語りました。

7/18[水]
▼
7/19[木]

英国自治体と友好協定を締結



▲ロンドン・カムデン区での調印式

県は、明治維新150周年の記念すべき年に、薩摩藩英国留学生にゆかりのある英国のロンドン・カムデン区、マンチェスター市と現地にて友好協定を締結しました。

カムデン区は、薩摩藩英国留学生が学んだユニバーシティ・カレッジ・ロンドンがあり、マンチェスター市は、五代友厚が木綿紡績機械を購入するなどした地です。

三反園知事が柴立県議会議長等と7月18日にカムデン区、翌19日にマンチェスター市を訪問し、協定への署名を行いました。

今後は、この協定に基づき、人的交流を含めて、両自治体との関係を強化してまいります。



▲マンチェスター市での調印式

7/22
[日]

ブラジル鹿児島県人会創立105周年記念式典



▲式典で祝辞を述べる三反園知事

ブラジルのサンパウロ市で「ブラジル鹿児島県人会創立105周年記念式典」が開催されました。

ブラジル鹿児島県人会は、1913年の創立であり、ブラジルにおける全国の県人会の中でも最も長い歴史を誇ります。

式典に出席した三反園知事は、県人会の方々の長年のご労苦をねぎらうとともに、ブラジルにおいて鹿児島県人としてご活躍された方々へ表彰を行いました。

式典は約350人が参加して盛大に開催され、参加者がおはら節を踊るなどして大いに盛り上がりました。



▲おはら節で盛り上がる会場

7/27[金]
▼
7/30[月]

鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流



▲大垣市で開催された「薩摩ベンチ受領式」
(ベンチは背もたれに桜島を形取り、島津家の家紋をあしらったもの)

8/4
[土]

岐阜県大垣市へ「薩摩ベンチ」贈呈

江戸時代に木曾三川の治水工事を行った薩摩義士の偉業を縁として、本県と岐阜県は昭和46年に姉妹県盟約を締結し、交流を続けています。

鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流は、昭和47年から毎年行われており、今年も7月に両県の青少年39名が本県の薩摩義士ゆかりの地を訪れるなどして歴史を学び、交流を深めました。

また、8月には関ヶ原の戦いで命を落とした島津豊久公の石碑を岐阜県大垣市の方々が大切に管理されていることへのお礼として、鶴丸城御楼門の建設に使用する本県産クスノキで作った「薩摩ベンチ」5台を贈呈しました。

県は、今後もこれらの交流を通して、岐阜県との絆を深めてまいります。



▲両県の青少年が薩摩義士碑に献花